

竹原市予算特別委員会

令和5年3月2日開議

審査項目

- 1 議案第1号 令和5年度竹原市一般会計予算
- 2 議案第4号 令和5年度竹原市港湾事業特別会計予算

【建設部】

(令和5年3月2日)

出席委員

氏 名	出 欠
今 田 佳 男	出 席
下 垣 内 和 春	出 席
平 井 明 道	出 席
村 上 ま ゆ 子	出 席
蕎 麦 田 俊 夫	出 席
山 元 経 穂	出 席
高 重 洋 介	出 席
堀 越 賢 二	出 席
川 本 円	出 席
道 法 知 江	出 席
吉 田 基	出 席
宇 野 武 則	出 席
松 本 進	出 席

委員外議員出席者

氏 名
大 川 弘 雄

職務のため会議に出席した者は、下記のとおりである

議会事務局長 笹原章弘

議会事務局係長 矢口尚士

説明のため会議に出席した者は、下記のとおりである

職 名	氏 名
建 設 部 長	梶 村 隆 穂
建 設 課 長	松 岡 俊 宏
都 市 整 備 課 長	広 近 隆 幸

午前9時54分 開議

委員長（今田佳男君） ただいまの出席委員は13名であります。定足数に達しておりますので、これより第5回予算特別委員会を開会いたします。

前回到引き続き、部ごとの詳細審査を行ってまいります。

本日は、建設部所管の審査となります。

本日の審査は、一般会計、特別会計の順に行います。

それでは、建設部長より担当部所管事業について説明を求めます。

建設部長。

建設部長（梶村隆穂君） 改めまして、皆様おはようございます。

委員長、副委員長をはじめまして委員の皆様方におかれましては連日の御審議で大変お疲れのところ、本委員会を本日も開催していただきまして誠にありがとうございます。

本日は、個別審査の最終日、建設部所管分でございます。御審議のほどどうぞよろしく申し上げます。

ここからは座って説明させていただきます。

それでは、資料の当初予算案の概要によりまして御説明いたします。

まず最初に、将来像1、にぎわいのあるまちの関係でございます。

16ページの上段を御覧ください。

立地適正化計画改定事業でございます。

本市の立地適正化計画は、人口減少、少子高齢化の進展の中、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを進め、誰もが安心、快適に暮らすことができる持続可能な都市構造を目指す計画でございます。

計画策定から5年が経過するため、令和5年度から2年間で改定することとして、社会情勢の変化等への対応をはじめとしまして根拠法令の改正に伴う防災指針の記載、そして本年度からの流域治水の取組を踏まえた改定に取り組んでまいります。

次に、将来像4、安全・安心で快適に生活できるまちでございます。

少し飛びまして、48ページの上段を御覧ください。

JR忠海駅自由通路整備事業でございます。

本事業は、県が現在実施中の港湾整備事業と連携し、JR駅と忠海港を直接連絡する通路を整備するものであります。港湾利用者の安全性と利便性のさらなる向上や来訪者の回遊によるにぎわいの創出を図るものであります。

計画としては、既設の跨線橋を利用し、JR 駅北口と忠海港の南北間に直接結ぶ通路を整備することとしまして、令和5年度は整備内容の詳細について検討、設計を行うものがあります。県の港湾整備やJRと調整しながら進めてまいります。

続きまして、下段を御覧ください。

市営住宅長寿命化事業でございます。

本事業は、限られた財源の中で市営住宅ストックの有効活用とライフサイクルコストの縮減を図るため、市営住宅長寿命化計画に基づき、予防保全的な維持管理や耐久性の向上を図る改善工事を実施するものであります。

令和5年度におきましては、今年度に引き続き第2丸子山住宅の大規模改修及び成井住宅の電気容量等の改修を行うほか、来須住宅のユニットバスの整備等を行ってまいります。

次に、50ページの下段を御覧ください。

特定都市河川浸水被害対策推進事業でございます。

本事業は、度重なる浸水被害を受けた本川流域の大王地区において、雨水を一時的にためるための雨水貯留施設を整備する事業であります。

本川流域については、昨年7月に特定都市河川に指定され、県、本市、地域関係者の協力の下、治水対策を推進していくこととしております。

本事業は、国と県の支援の下、ハード対策の柱の一つとして整備するものであり、令和5年度は詳細設計を実施してまいります。

続きまして、53ページの下段を御覧ください。

緊急自然災害防止対策事業、河川でございます。

本事業は、災害の発生及び拡大を防止するため、国の有利な財源を活用して河川整備や排水機場整備を行うものであります。

事業費は、6億1,000万円を計上させていただいております。

事業内容としましては、本川流域の関係では大王地区のポンプ場整備や楠通ポンプ場の更新などの工事を実施するとともに、東野地区や皆実地区など市内各所で浸水対策を講じてまいります。

最後に、デジタル変革——DX——への対応でございます。

59ページの上段を御覧ください。

都市計画基礎調査事業でございます。

本事業は、国を挙げてDX政策が進められる中での都市計画分野での取組でございます。

市内の建築物や土木構造物などを3次元でデータ化し、建物の高さや用途などの情報を付け加えた地理空間データを作成、防災的なデータなどと重ね合わせて一般利用できるものとする取組であります。様々な分野でデータ利用の促進が図られ、利便性が向上するものと考えております。

調査は県が主体で行い、負担金として支出するものであります。

以上が建設部所管の予算案の概要説明でございます。このほかにも、空き家対策総合支援事業や緊急浚渫推進事業、災害復旧事業など様々な事業に意欲的かつ着実に取り組む予算としており、元気な竹原市の実現に向けて取り組んでまいりたいと考えております。どうぞよろしく申し上げます。

委員長（今田佳男君） 説明が終わりましたので、質疑を行ってまいります。

一般会計の歳出。

これから、歳出費目を審査していきますが、その審査過程において特定財源である歳入に対する質疑がある場合は、歳出に合わせて質疑をしていただきますようお願いいたします。

それでは、入ります。

150ページ、151ページ、農地費で質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

次の152ページ、153ページ、樋門維持管理費で質疑のある方はお願いいたします。

宇野委員。

委員（宇野武則君） この樋門は、毎年指摘をさせていただいているのですが、もう梅雨が間近でありますので、試運転とかというようなものは実施されているのかどうか。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） そうですね、出水期前には必ず点検整備とか、あと電気施設の保安全管理でありますとか、そういったところは定期的に行っております。そういったところもこの予算の中には編成しておりますので。

委員長（今田佳男君） ほかよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

林業費， 154 ページ， 155 ページ， 1 番の林業総務費について質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） それでは、次に参ります。

2 番林業振興費， 154 ページ， 155 ページ， そして156 ページ， 157 ページまでまがります。そのうち1 番の鳥獣被害対策に要する経費， 155 ページは除きます。林業振興費に質疑のある方はお願いいたします。

村上委員。

委員（村上まゆ子君） 155 ページの3 番， 人工林対策に要する経費， 24 の森林環境譲与税基金積立金についてお伺いいたします。

概要は， 概要書の40 ページの下段になります。

森林環境譲与税基金積立とありますが， こちらは何の目的において積み立てられているのか教えていただけませんか。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） こちらは， まず森林環境譲与税の創設の趣旨ということで， 森林が有する地球温暖化の防止でありますとか災害防止， あと国土保全， 水源の涵養等， そういったところを適切に森林を整備することで， 我が国の国土であるとか国民の命を守ることにつながるということで， そういった森林環境譲与税というものが創設されております。

そういったことを利用して， 竹原市というか全国的にですけども， 人工林を対象にその整備が全然できていないという状況もあって， そういったところがいわゆる地球温暖化であるとかそういうところに影響を及ぼしているというところで， そういう人工林を対象に所有者の方へ意向調査をしてその整備を促すというか， もしできないのであれば森林環境譲与税の本基金を活用して森林整備を行っていくという， そういったことを目的とした基金でございます。

委員長（今田佳男君） 村上委員。

委員（村上まゆ子君） 竹原市のホームページ，令和3年度使途においてもほとんどが積立てになっております。

今回の予算においても積立金が増とされていますが，一般財源を使わずこの積立てを充てるということはできないのでしょうか，教えてください。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） そうですね，今基金のほうも令和4年度末で約1,700万円ぐらい積み立てられているという状況でございます。

令和5年，新年度は森林整備とか，あと境界を確定するための測量などで155ページの下から2番目の測量設計委託料というところで825万1,000円ということ計上させてもらっていますけども，そちらのほうの測量などの委託料と，あと令和3年，4年に実施しましたいわゆる所有者に対する意向調査，それに基づいた森林の整備，実際にもう伐採とかそういったことを行っていくというところの委託料で528万1,000円を計上させていただいているという状況でございます。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

委員（村上まゆ子君） はい。

委員長（今田佳男君） ほかがございますか。

では，道法委員。

委員（道法知江君） 今のところになるのですが，これは第2次竹原市緑の基本計画に基づくということだと思えるのですが，これはもちろん私有林だけということの考えでいいのですか。

建設課長（松岡俊宏君） そうですね，私。

委員（道法知江君） 私の私有林のみの考えでいいって，当然そうですね。

それで，森林面積に対して私有林というのはどれぐらいあるのでしょうか。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 面積は，すみません，手元にあれなのですが，人工林は竹原市にあまりないのです。今，実際やっているところが北部方面の田万里でありますとか，あと仁賀。仁賀でいけば，昔ありました地積調査を実施しているところで，実施していれば境界がもう法務局に納められていて境界立会も省略できるというところで，そういったところを選定してやっているのですが，そもそも竹原市に人工林そのものが少ないという状況がありますので，いずれ数年すれば人工林に対してそういう森林整備をやる箇所

がなくなって、その後は全国的にもそういうところが出てきているのですけども、いわゆる公共施設に対して例えば道路に木がかぶさってきたりとか、あとは教育施設とかそういったところに木がかぶさってきたりとか、そういったところにも柔軟に対応していけるような、そういう基金になってくるかと思います。

委員長（今田佳男君） 道法委員。

委員（道法知江君） 令和3年からされている事業だったのですよね。それで、市が仲介役となって森林の所有者を見つけるために、今の段階としたら次年度においては所有者リストということで境界線等について進めるという、次年度の調査はそのようにするという、それに主に費用がかかるということの理解でよろしいでしょうか。

建設課長（松岡俊宏君） そうですね。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

ほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

158ページ、159ページ、水産業費のうち2番の真ん中辺、漁港管理費について質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

その下、3番、漁港建設費ですが、159ページ、2番の漁港整備に要する経費のみとなります。質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

次は商工費、160ページ、161ページ、商工総務費のうち、161ページの4番、工業団地に要する経費、このうちの10番修繕料の一部のみとなります。商工総務費について質疑のある方はお願いします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

166ページから169ページ、土木費のうち土木管理費、1番の土木総務費ですが、

このうち167ページの1番の人事管理に要する経費は除いて、166ページ、167ページ、続いて168ページ、169ページにまたがります。土木総務費について質疑のある方はお願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

道路橋梁費、170ページ、171ページの1番、道路維持費で質疑のある方はお願いします。

よろしいですか。

宇野委員。

委員（宇野武則君） 橋梁なんかは特に基礎なんかが大事になってくるわけですが……。

委員長（今田佳男君） 先生、何ページのどこですか。

委員（宇野武則君） 171ページの2、測量設計委託費3、300万円。

委員長（今田佳男君） 171ページ、緊急自然災害の災害防止対策に要する経費のうちの12番の測量設計ですね。では、お願いします。

委員（宇野武則君） 当然ですが、職員の皆さんは立会いはやっているのですね。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） それは、現地のほうでということですかね。

それは、現地のほうは立会い等はしております。

委員長（今田佳男君） 宇野委員。

委員（宇野武則君） 基礎は埋まってしまうところですから、この前も言ったように、特に災害時も相当数の設計変更があって、業者も非常に困ったことが大変報告があったのですが、とにかく測量は工事の基本ですから、しっかり業者をお願いして正確にやってもらってください。その点について。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） しっかりその辺は業者と打合せをしながら進めていきたいと思えます。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

委員（宇野武則君） はい。

委員長（今田佳男君） ほかがございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

その下、2番、道路新設改良費、170ページ、171ページ、そして172ページ、173ページの上方までまたがります。そのうち、1番の人事管理に要する経費は除きます。

山元委員。

委員（山元経穂君） 2番の道路整備に要する経費で、JR忠海駅自由通路整備事業、概要でいったら48ページ、ここでも観光交流拠点を目指すため直接連絡する自由通路を整備するって、これ長年の忠海駅から忠海港までどうやって安全と時短をして渡すかというところは、これ効果をもう少し説明していただきたいと思います。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） こちらのほうは、JR忠海駅自由通路整備事業ということで、ここの整備と併せまして今現在広島県のほうが県営忠海港湾改修事業、港のほうですけども、そちらのほうと併せてこちらの事業、JR忠海駅から忠海港を直接連絡する自由通路を整備することによりまして港湾利用者の安全性と利便性のさらなる向上を図り、また港を生かしたにぎわいと潤いのある観光交流拠点とすることを目的としたものでございます。

業務の目的ですけども、本業務はJR忠海駅北口から既存の跨線橋——この跨線橋はJRから無償で取得することとしております——を利用いたしまして忠海港南側へ直接連絡する南北間に自由通路を整備することを目的としておりまして、事業実施に必要な整備内容を検討、設計するものでございます。

事業範囲は、JR忠海駅北口から跨線橋を経由いたしまして、忠海南側において県営事業で整備される歩道に接続するまでの区間ということとしております。

以上でございます。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

ほかございますか。

村上委員。

委員（村上まゆ子君） 同じくJRの忠海駅なのですが、こちらの全体事業費及びライフサイクルコストについて幾らかかるのか教えてください。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） まず、今回積まさせていただいているのは、自由通路の設計業

務委託料ということで1,100万円ということでございます。こちらの中身を具体的に申しますと、南側ホームへのIC改札機、それから発券機並びに屋根——上屋——の新設と、それから点字ブロックの位置の変更でありますとか、それから転落防止及び駅構内外を区分するためのフェンスの新設、それから電気設備、それから配線の移設、北側出入口及び南側通路と出入口の整備ということとなっております。

その後、また設計が終わった後には実際にまた工事のほうに入っていくということでございます。ざっくりした金額ではあるのですが、今後この整備をするに当たっていろいろと全体事業費としてかかるのが、具体的に約8,000万円ぐらいは必要なのかなというところで、今JRのほうとも協議を進めているところでございます。

以上です。

委員長（今田佳男君） 村上委員。

委員（村上まゆ子君） 今現在使用されている歩道を広げるほうがコストは安いかなと考えてしまったのですが、その比較検討はされたかどうか教えてください。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 今の185号線の歩道の話ですか。

委員（村上まゆ子君） はい。

建設課長（松岡俊宏君） まず、JRを使って今の港を利用される方とか、南北を自由通路で行き来できるようなところを目的に今この整備を行っておりますので、JRさんのほうからも今の跨線橋を無償で取得できるということもありましたので、金額的なところは今は申し上げられませんが、そういう面ではこちらのほうがコストダウンにつながるというふうにはなっております。

あと、将来的にそこを利用して行き来したほうがいろんな形で港の利便性、それから例えば忠海の商店街というような町のにぎわいとか、そういったところにもつながってくるのかなというところでこの整備をすることとしております。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

ほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

橋梁維持費、172ページ、173ページになります。橋梁維持費について質疑のある方はお願いいたします。

高重委員。

委員（高重洋介君） 橋梁維持費について質疑をさせていただきます。

ここ数年、集中的にやられている事業だと思うのですが、今年度はどういったところの橋を維持補修されるのか教えてください。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 橋梁維持費につきましては、測量設計委託料として3,000万円のほうを積みさせていただいております。

こちらのほうは、橋梁の維持補修事業ということで105橋の橋梁の点検業務を予定しているというところでございます。

委員長（今田佳男君） 高重委員。

委員（高重洋介君） 今現在、成井から上条に向かうところの竹原病院のところの橋梁を工事されておりますが、これ現状維持という形で今工事をされていると思うのですが、実際にあの橋はもう50年以上も前の橋でございます。今後、先、未来を見据えて補修をしていくこと、それと50年前といたら車の交通量がかなり違うと思うのです。例えば、竹原病院、むつみさんは100人以上の従業員さんがおられます。また、竹原中学校の周りは進入禁止の時間が朝にございまして、かなりあちらを回られる車が多いわけです。そういったことも加味しながら、将来を見据えたそういった橋梁についてでも、道路についてでもですけどやっていかないと、市民の安心・安全等々、利便性、時代に合った交通の便、そういうことも加味しながらやっていかないといけない場所、ここはまさにそうだと思うのです。他の場所でもいろいろあるとは思いますが、車の離合ができるようなところとかという部分では現状維持でいいとは思いますが、その辺についてどのようなお考えでしょうか。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） そうですね、確かにおっしゃるとおり、私も北部から出勤するに当たっては今の市道西上条3号線親耕橋というのですが、そちらのほうはかなり交通量があるという状況がございます。今、あちらの橋梁の補修の工事をやっておりますけれども、一応この6月ぐらいに完成予定としているのですが、今橋梁の点検をする中で、先ほども予算の説明をさせていただきましたけれども、橋梁の点検をする中でどのようにしてライフサイクルコストですとか、将来的にあまり費用をかけないような平準化をするということと、あと委員さんおっしゃられるようなある程度の幅を確保するかということ

もあると思うのですが、限られた財源の中でその辺の視点も確かに必要だと思うのですが、できる限りのところを今やっているという状況なので、決してその意見を否定するわけではないのですが、そういったところを踏まえた今後の橋梁の補修の在り方というところを加味しながら進めていきたいというふうに考えております。

委員長（今田佳男君） 高重委員。

委員（高重洋介君） 災害においても現状維持、回復をします。しかしながら、新たに造ろうと思えばそれだけの予算が要るわけではないですか。しかしながら、こういうことを利用しながら、災害でもそうですけど、少し竹原市が出せば広がるわけです。便利がよくなるのです。そうすることによって竹原市に人が集まってくるということも考えられます。目先だけではないのです。長い目で見て利便性がよくなれば人も集まる、そういったまちづくりをしていただきたいというふうに思います。

特に、去年は私はいなかったからあれなのですが、橋が工事されている、広がるのかなと思ったらそうでもない。特にあそこは橋の途中から国道にバックしたりとか、離合ができないので、住民の方のもっと便利にしてくれないのかなという声も聞いていますし、実際に竹原中学校の先生なんかあそこを通っていかれる方が結構おられますし、もう少し将来性を見たこういった修繕工事などを全体的にさせていただきたいと思います。同じ質問になるのですが、答弁ができるようでしたらよろしくお願いします。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） できる限り今の意見を反映できるような、そういった橋梁の補修のほうをやっていきたいと思います。

あと、いろんな補助金等を使って橋梁の補修とかもやっております関係上、どうしても条件的な縛りもあったりするので、そこも加味しながら市としても何かできることがあるかというところも検討しながら進めていきたいと思います。

委員（高重洋介君） よろしくお願いします。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

では、次に参ります。

174ページ、175ページの河川費のうち、1番の河川総務費について質疑のある方はお願いいたします。

村上委員。

委員（村上まゆ子君） 175ページの3番、緊急自然災害防止対策に要する経費、概要

は53ページの下段になります。

緊急自然災害防止対策事業の河川のほうについてお伺いいたします。

こちらの事業の施行箇所数と施工場所について教えていただきたいです。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） こちらのほうは、緊急自然災害防止対策事業ということで、測量のほうは箇所数でいけば4か所です。工事のほうは、今の5億5,500万円は大王地区のポンプ場の整備、それから楠通のポンプ場の更新、それから東野地区の山田川水系の浸水対策、それからこれ忠海ですけれども宮畑川の河川改修、それから小島川の簡易ポンプ場、それから皆実川の排水機場の改修、それから柏樋門の改修ということで、改修のほうは7か所ということです。

あとは、物件補償として、東野の在屋川の改修になるのですけれども、改修に当たって河川の護岸の整備とか橋のかさ上げがありますのでそれに伴った用地と、あと移転補償の関係がありますので、その補償で1,500万円ということでやっております。

以上です。

委員長（今田佳男君） 村上委員。

委員（村上まゆ子君） 交付税措置が適用となると思うのですが、何年間の措置か教えてください。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） こちらのほうは、緊災は令和3年から令和7年までです。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

山元委員。

委員（山元経穂君） 今の村上委員のところと同じ緊急自然災害防止対策事業ですが、これは河川の河道整備って、今、東野とかというような話がありましたけど、これ本川は含まれていないのですか。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 本川のほうは、今、県が重点的事業として整備をしていくということになっておりますので。

竹原市のほうは、今の内水対策ということで、中の大王地区のポンプ場とか管路の整備とかというところがございます。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

山元委員。

委員（山元経穂君） では、続いて。

その下の特定都市河川浸水対策に要する経費で、雨水貯留施設を造るということですが、令和4年度の進捗状況と令和5年、次年度はどのように展開していくかということをお聞きしたいと思います。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） まず、令和5年度は今の測量設計ということで3,000万円の予算のほうを計上させていただいているというところがございます。今のいわゆる調整池の詳細な設計をさせていただくと。その後、予定ですけども、令和6年度に工事とか、あと電柱の移転とか水道の移設等がございますので、そういったことを施しまして、続いて令和7年、8年度もいわゆる工事を進めて、一応8年度ぐらいには完了するというような予定ではありますけど、そういったスケジュールでございます。

委員長（今田佳男君） 山元委員。

委員（山元経穂君） 早かったら次年度から工事が始まるということなのですが、先ほど高重委員が言われたことと酷似するかもしれないのですが、安全性です。どこから工事車両等が進入していくかといって、課長も御存じだと思うのですが、本川沿いから来ても道路が狭いのです。先ほど高重委員が言われた竹原病院の前の橋と同じ話で、かなりの交通の混雑が予想される。夕方なんて、柿井さんの前のところなんて物すごい交通量で、もう地元の皆さんが一定こういう流れになるからというのが分かっているから事故が起きないぐらいの話で、誰か間違えて進入したりとかという人がいたらかなり事故の危険性が……。よく事故が起きないと思うぐらい道路も狭い、本川に圧迫されてますから。

では逆に、大広苑の下のきよ食堂、あっちのほうから入っていくにしても同じように道路が狭いのです。その辺の安全・安心を担保していかないとなかなか工事をやるにしても大変だと思うのですが、その辺の認識についてお聞きしたいと思います。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 確かに、その周辺の道路というのはかなり幅が狭くて狭隘なところがあったり、また通学路というところもあったりして、工事の際にはそういう安全面とかそういったところをしっかりと考慮する必要があるということで、例えば部分部分に迂回するようなそういった幅の広い箇所を設けるとか、あとはまたどうなるか分からないのですが、仮設みたいなどころとかを造ったりとかということを今、県のほうという

いる協議しておりますので、そのように御理解いただけたらと思います。

委員長（今田佳男君） 山元委員。

委員（山元経穂君） 市だけじゃなくて、県も当然関わってくる特定都市河川事業なので、県との調整も必要ですけど、今、課長が御答弁で言われたように、迂回路だけではなくてできれば仮設道路というかそういうのを造って、もしその仮設道路が今後も利用できるのであれば残して道の拡幅、先ほどの高重委員の話ではないのですが、結局広がらないと、最終的に工事が終わりました、戻りましたではまた同じような状況になってしまうのです。交通安全対策に話がずれるかもしれないのですが、これ結構今後工事を進めていく上で大事な問題ですので、仮設道路ということを特に考えてほしいなと思いますが、もう一遍御答弁をお願いしたいと思います。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 先ほど申し上げましたけども、広島県の事業の絡みもありますので、そこは県としっかり協議をしながら進めていきたいと思っています。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

ほかよろしい。

高重委員。

委員（高重洋介君） すみません、また山元委員と同じところなのですが、確かに地元の方も危惧されておりますし、県の工事といえども竹原市と連携を取りながらやっていただきたいのと、また下水道の工事がちょうど同時期に始まります。これ2つが同時に始まるということは、ほとんど危険な状態が続く。確かに、今の状況というのは先ほどの橋梁と一緒に、50年、60年前の形態なのです。軒数は倍増しているのです。車の数も増えているのです。そうした上で、現状維持であるような道路の形にするということは、これあり得ないことなのです。竹原市のまちづくりとか、市民の安心・安全を考えたときには今後先につながるものにしないと、先ほどの迂回路にしても、迂回路ではないのですよ、工事用道路を造ってそれを今度はその道路を生活道にしていくぐらいの、今やらないとこれ一生もうできないのです。そういうことも頭に入れて県のほうと協議をしていただきたいし、本当に住民の方は危惧されております。これから多分いろんなところでそういう話合いの場所も出てくると思うので、その辺についてお聞きします。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 繰り返しの答弁になりますけども、そういったところをしっか

り我々も考慮して県のほうと協議を進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

では、次に参ります。

176ページ、177ページ、港湾費のうち、上段の1番の港湾管理費について質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

その下、2番、港湾建設費、176ページ、177ページです。港湾建設費について質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

178ページからの都市計画費のうち、1番、都市計画総務費、178ページ、179ページ、それから180ページ、181ページの中段から下ぐらいまで行きます。このうち、179ページ、1番の人事管理に要する経費は除きます。都市計画総務費について質疑のある方はお願いいたします。

川本委員。

委員（川本 円君） 予算書の181ページの最後のほうになりますが、7の12、竹原駅前エリアウォークブルビジョンのところ、12と18のところを併せてお聞きいたします。

確認から行いますけども、エリアウォークブル推進事業というのは以前あった竹原駅前にぎわい創出で歩きたくなる事業、これのネーミングが変わったということによろしいのでしょうか。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） エリアウォークブルビジョンですが、こちらのビジョンのほうですけど、こちら当初から令和2年度に策定をいたしまして、駅前で社会実験をした後に策定したもので、当初からビジョンにつきましてはエリアウォークブルビジョンという名称を使わせていただいております。

委員長（今田佳男君） 今のでいい。

川本委員。

委員（川本 円君） それを継承したという格好で、以前からあったというお話ですが、以前歩きたくなる事業の中では一般財源と予算額の総額、あとふるさと納税を使われて推進してきたと思いますが、今回見ますと一般財源の86万3,000円しか予算編成がされていないのですが、金額的にかなり少なくなっておりますが、これで十分対応できるということではよろしいですか。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 86万3,000円ということですが、これまで令和2年度からの取組ということで、市のほうが主体ということでこれまで取り組んできたのですが、来年度、駅前のにぎわいということをも目的とした場合に、地元でありますとかそういったところが主体でやっていただくというふうな、そういうふうには今後はシフトをしていきたいというふうに考えておまして、86万3,000円のうち50万円ということで補助金を上げておりますが、今後新たな協議会ということで駅前商店街振興組合のほうに事務局のほうを置きまして、こちらが主体ということで、市のほうも当然連携を図っていくわけですが、そういったことで今後地元のほうが主体ということで徐々に進めて、今後引き続き取組を進めていきたいというふうに考えております。

委員長（今田佳男君） 川本委員。

委員（川本 円君） 大体イメージは湧きました。ですから、推進協議会というのが今度は駅前のほうに移るということですね。恐らく、年1回の実証実験を2回か3回ぐらいやられたのが記憶にあるのですが、今後においても大体年1度あいったイベントを開催する方向性で考えてよろしいのですか、また別の形で何かをやるとかというのがあるのでしょうか。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） こちらのほうは駅前のにぎわいを創出するというので、イベントとしては年に1回、9月、この2年は10月というふうには開催しているのですが、一過性のイベントを開催するというのではなく、こういったものを日常化していきたいというふうなことがあります。今年度からあいった大きい形でのイベントというのは1回なのですが、毎月第3週の週末にハンモック等を置いたりとか、そういった小さい形ではあるのですが毎月の取組ということで徐々に日常化をしていきたいということ

で、地元との協力等も得まして行っているというふうな状況であります。

委員長（今田佳男君） 川本委員。

委員（川本 円君） それと、先ほどのお話の中で令和2年度から実証実験をやられて、計画では10年間を見越して実施するという当初の計画だったと思います。まず、それが変わっていないのかということと、あと以前質疑をしたときに空き店舗があるので、1年に1店舗ぐらいは新規加入を促進するのも行いたい、行う予定であるというふうな答弁をいただいているのですが、その事業も引き続きここでやられるということによろしいですか。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） このウォークアブルビジョンですが、10年間ということで現在進めているわけですけど、来年度におきまして小規模な改正ということで予算のほうも上げさせていただいているのですが、10年間というところは現在の計画においては変わっておりません。

それから、新規のということですが、確かに駅前のほうは空き店舗だけでなく、最近は空き地まで目立ってくるというふうな状況で、この取組をさらに進めていきたいと思うのですが、明るい話題としましては駅前の旧シオタさんのところ、そちらのほうへ新しい福祉事業所が入られたりとか、商業施設の店舗閉店に伴いましてあいふる通りでありますとか本川通り、そういったところへお店をまた再度構えられるというふうなことで明るい話題のほうもありますので、そういった方々にも協力をできるだけ得て、人材でありますとか事業者さん、多くの方に協力していただく中でこういった取組を進めていきたいというふうに考えております。

委員長（今田佳男君） もう一回聞く。

川本委員。

委員（川本 円君） 質疑が悪かったですかね。この推進事業の中では1年に1店舗をという話では、金額的に明らかに少ないと思うのですが、それは継承されていくのですか。また別のほかの予算を使ってやられるのですか。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） このウォークアブルビジョンなり駅前のにぎわい再生事業につきましては、空き店舗を増やさないための補助というふうなものは入っておりませんが、そちらにつきましては産業振興課のほうでの空き店舗の活用というふうなことで進め

ていかれるということでもあります。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

委員（川本 円君） はい。

委員長（今田佳男君） ほかございますか。

松本委員。

委員（松本 進君） 私は、181ページの集約都市形成の立地適正化計画の改定ということをお尋ねしておきたいと思うのですが、これ800万円で予算計上ということで、大枠で聞きたいのは2018年に立地適正化計画をつくっておりますけれども、このときに竹原市でいうまちづくりの拠点が北部を含めて5か所が、18年では4か所に集約するという計画になっています。ですから、それで今度は私が心配になるのは、今沿岸部の4か所を拠点とするのですけれども、それがまた今度3か所とかに減るようなことの計画ではないのかどうかの確認をしたいと、まず。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 今回の立地適正化計画についてですが、計画策定からおおむね5年で見直すというふうなことが法律のほうで義務づけられておりますので、それに伴いまして来年度、再来年度の2か年にかけて実施していくということで、冒頭、部長のほうからの紹介もありましたけど、今回の改定のポイントとしまして、これまでの5年間ということで人口密度の変更、それから誘導施設のいろいろな推移等がございまして、大きな見直しとしましては忠海地区のほうで、当時は知らなかったのですが土砂災害特別警戒区域という指定を新たにされておりますので、こういった居住の誘導区域等の整合を図っていく、あるいは先ほどもありましたけど特定都市河川の指定等も踏まえまして、こういった浸水対策とか居住誘導の区域の整合を図っていくというふうなことでありますので、今回そういったことも含めまして見直していくということになっております。

委員長（今田佳男君） 松本委員。

委員（松本 進君） 今の答弁では、私が心配したのは2018年のときに計画をつくったときに、竹原市としては今まで北部を含めて5の拠点をやっていたのが、それが北部を除外して4つの拠点に変更するという計画をつくっています。それで、今人口が大分減っているわけですが、今沿岸部の4つの拠点は残すのかどうかということをもう一回確認したいのです。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 当初から5年ということで、基本的に拠点が4が3になるというふうなことはないと考えております。

委員長（今田佳男君） 松本委員。

委員（松本 進君） それと、こういった大切なまちづくりの基本になるわけですから、もう少し地域住民の関係者への丁寧な説明と合意といいますか、それが必要だと思うのですが、すけれども、特に前回つくったときはパブリックコメントを実施して、それをやったから地域住民には周知徹底をしているとか、それで特別に反対とかの意見が多くなかったのかも分かりませんが、そういったことで地域の住民の関係者には合意を得ているよというやり方を取ったわけなのではすけれども、しかし私はそれでは極めて不十分だと思うのです。ですから、さっき言った忠海のいろんな防災の変更とかという部分はきちっと地域住民のために周知徹底をして、こういったまちづくりの立地計画を変更するのだというのはもう少し周知徹底と、合意には丁寧な段取りが要るのではないのかという、その取組を聞いておきたい。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） この立地適正化計画ですが、居住、生活の本拠となる場所になるのですが、そういったことの誘導ということもありますので、当然先ほど委員のほうからありましたパブコメとか、そういった形での住民の方の意見の募集とか、その他土地再生協議会でありますとか都市計画審議会、そういった学識経験者の方等も含めた審議等もありますのでそういった慎重な審議でありますとか、計画変更後は住民への周知をしっかりとっていくというふうなことはしっかりやっていきたいと考えております。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

ほかございますか。

蕎麦田委員。

委員（蕎麦田俊夫君） 181ページ、上段から6行目、空き家対策補助金について質問させていただきます。概要書は、21ページになろうかと思えます。

空き家対策補助金で650万円計上されておりますけれども、その内訳が空き家改修、移住・定住支援事業、特定空家及び不良空家除去支援事業、空き家家財道具処分の支援事業かと思えますけれども、それぞれの予算の内訳について教えていただければと思いますので、お願いいたします。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 空き家対策の補助金についてですが、まず空き家の改修、移住・定住者ということですので市外から竹原市に転入されて住まわれる方に対する空き家、これ居住のための改修ということに限定したものが補助対象経費となっておりますが、こちら1件当たり100万円を限度としまして3件、それから危険な状態となってもう活用のしようがないということで除却をされる場合に30万円を上限としまして、これを10件としております。それから、家財処分ですが、こちらのほうは実際空き家バンク等に登録するというふうなことを条件としまして、多くあるのがたんすとかいろいろ家財が残っているために活用ができないというふうなことがあるので、そちらをもっと活用を図ることを促進するというように設けている制度ですが、こちら1件10万円で5件を計上ということで、先ほども言いましたようにこの3種類の合計としまして650万円ということで計上させていただいております。

委員長（今田佳男君） 蕎麦田委員。

委員（蕎麦田俊夫君） この制度は今年度から始まりまして、今年度の申込み締切りが11月30日までとホームページで確認をしたらなっておりましたけれども、11月30日現在での申込み状況とかが分かれば教えていただければと思います。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 令和4年度の実績であります。改修のほうは3件で300万円、除却が8件で240万円、それから家財処分が2件で11万円ということで、合計しまして13件、551万円ということで、これも既に11月で締め切っておりますので、この金額で決算になろうかと思っております。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

蕎麦田委員。

委員（蕎麦田俊夫君） 分かりました、ありがとうございます。

それと、事業年度が令和4年度から令和8年度となっておりますけれども、令和8年度までという理由を教えていただければと思いますので、お願いいたします。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 竹原市のほうで空き家等の対策計画というものを定めておりまして、これ昨年度におきまして改定を行っております。第2期計画が現行の計画となっておりますが、こちらのほうは令和4年度から令和8年度までの5年間の計画ということになっておりまして、そちらのほうで令和8年度ということにさせていただいております。

ます。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

委員（蕎麦田俊夫君） はい、結構です。

委員長（今田佳男君） ほかがございますか。

堀越委員。

委員（堀越賢二君） 181ページの6番，都市計画基礎調査に要する経費のところで，先ほど部長から説明もありました。こちらのほうが建築物等の現実の都市に存在するオブジェクトを3次元形状と建物情報を搭載した地理空間データを作成し，ハザード情報などと重ね合わせてオープンデータ化するというところで，デジタル変革への対応というところでこちらのほうには期待をしております。

そこで，今年度ちょうどハザードマップの更新時期に来ていまして，ハザードマップのQRコードとかを読み込んだらこちらのデータのほうが見れる，アナログの紙ベースのものとデジタルの3次元のようなものがリアルに活用できれば非常に有効ではないかと思うので，ハザードマップの作成時期とかのこともいろいろ考えて，できたらこういったようなものが新しいハザードマップのほうに掲載できたら有効な資料というか，各家庭に配付されますのでいいのかなと思うのですが，このことについてはいかがでしょうか。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） こちらの3D都市モデルということですけど，国のほうで始められてまだそう年数がたっていないのですが，確かにDX政策ということで注目されて，県のほうでも力を入れて今後進めていくということで，来年度竹原市の3Dモデル化を進めるというふうな動きとなっております。

実際の活用等についてなのですが，平面的なデータでなくってこれも部長の初めの話であったのですが，それを画面で立体的な画像にして，どこまで開示するかというところはあるのですが，さらに個々の建築物等の例えば高さであるとか用途であるとかそういったものまで含めて，それにさらに想定される浸水の場所とかそういったものを融合させて，様々な活用が期待されるということでもあります。

実施主体のほうが広島県ということで，竹原市が負担金を支出するというところで，事務自体は竹原市には発生しないのですが，活用の分野として先ほど言われましたように防災とかまちづくり，環境，公共交通とか，竹原市であれば観光等にも利用されるということで，具体的な活用として現在想定されておりますのが防災講演会でありますとか防災に関

する市民説明会，こういったものがまず想定され，その後また様々な分野で活用をされるということと，このデータは基本的にオープンデータ化ということで，個人個人でも御家庭でホームページ等で確認ができるといったことで，そういったことでも活用が期待されているというふうなことになっております。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

ほかよろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では，次に参ります。

2番の公園管理費，その下です，181ページ，それから次にわたって182ページ，183ページとなりますが，そのうち181ページ，1番のバンブー体育館施設管理に要する経費は除きます。公園管理費について質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では，次に参ります。

その下，街路事業費，182ページ，183ページ。

吉田委員。

委員（吉田 基君） これは，本郷忠海線ですか，街路事業。2，900万円何がし。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） こちらのほうも県の街路事業ということでの竹原市分の負担金ということで上げさせていただいております，対象の路線としましては国道432号，こちらが1，700万円と，あとさっき委員さんおっしゃられますように忠海中央線，こちらの第2工区のほうが昨年10月に県のほうで事業認可となっておりまして，今後進めていくということで負担金として1，233万4，000円ということで，合わせまして2，933万4，000円ということで計上させていただいております。

委員長（今田佳男君） 吉田委員。

委員（吉田 基君） 15分の1の負担だと思うのですが，負担金が。どんなことをするのだろうか，来年度，令和5年は。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 昨年10月に事業認可のほうになりまして，県のほうからお聞きしておりますのは今後，来年度から設計のための測量とか用地測量，それから今後

一部買収ということになりますので用地交渉、買収ということで、その後工事に着手されるというふうに伺っております。

委員長（今田佳男君） 吉田委員。

委員（吉田 基君） 大体こういう事業が事業認可になるということは、いろいろな展望というか事業計画があるわけですけど、概略というのか用地交渉なんかでおおむねいろいろな支障があった場合に延長になったりいろいろするのでしょうか、事業計画の期間はどのくらいでやっていこうという考えがあるのか。分からなかったらまた後でいいよ。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） すみません、また後で調べさせていただきます。すみません。

委員長（今田佳男君） 保留ということよろしいですか。

では、次に参ります。

182ページ、184ページ、4番の駐輪場管理費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

5番の土地区画整理事業費、182ページ、183ページ、それから次の184ページ、185ページにまたがります。このうち、183ページの2番、新開土地区画整理事業に要する経費、これになります。質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

184ページ、185ページの下のほうですが、下水路費について質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

186ページから187ページ、1番、伝統的文化都市環境保存地区整備費、このうち1番の景観道路・修景広場維持管理に要する経費、187ページですが、その1番、ここだけになります。質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

190ページから193ページになりますが、住宅費のうち1番の住宅管理費、190ページ、191ページ、それから次の192ページ、193ページまでまたがります。このうち、1番の人事管理に要する経費は除きます。住宅管理費について質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

194ページ、用悪水路費のうち、1番、樋門維持管理費、194ページから195ページですが、樋門維持管理費について質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

急傾斜地崩壊対策費ですが、196ページから197ページ、1番、急傾斜地崩壊対策費について質疑のある方はお願いいたします。

松本委員。

委員（松本 進君） 197ページの2の急傾斜地維持管理補修経費、その下の委託料が736万円ありますけれども、確認を含めてお尋ねしたいと思うのですが、要するに県からの委託の分かなと思うのですけれども、予算が736万円の維持委託料で、ざっくり言って何か所あるうちのどのぐらいの維持補修ができるのかなということをお尋ねしておきたい。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） すみません。ざっくりですが70前後ということで。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

松本委員。

委員（松本 進君） それで、気になるのは、70でチェックしてやればいいのですが、再質問の分で急傾斜でいろんな向島とか忠海とかいろいろなところがありますけれども、気になるのは例えば水抜きのところ。水抜きのところなんか根が生えて、木が生えて、本来切って手当てしなくてはいけないのですけれども、あれが各地に残っている

というのがあって、それも放っておいたら割れてから崩壊するというのですか、それとかのり面のところの上の排水なんかもきちっと維持管理しないと、水を含んでがばっといくという崩壊のおそれがあるので、そこらの点検までその70のうちで点検ができていればいいのですが、あとさっき言った水抜きとか、具体的に。そういった斜面の維持管理がどこまでできているのか教えてほしいのですが。

委員長（今田佳男君） 難しいですよ、数が多いので。

建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） まず、主要な箇所等については広島県と共に定期的にパトロールをしているということと、あと市のほうでもそういった部分については定期的にどっか現場に行く際にも見たりとかして、点検のほうはしているという状況でございます。

委員長（今田佳男君） いいですか。

松本委員。

委員（松本 進君） ちょっとくどいようだけでも、水抜きのところの管理なんかはきちっとやっていかないと、今度梅雨になりますけれども、それとかのり面の上の排水のところの水を含まないように点検、維持管理をしておかないと気になるのですよ、ばさっと大きな被害にならないかなということだけは指摘して対応していただきたいと。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 引き続き、適切に対応していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長、先ほど保留になったのでできますか。

都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） 先ほど、吉田委員さんのほうからありました忠海中央線の事業期間ということですが、こちらのほうは事業認可のほうで、事業の施工期間ということで令和4年10月から令和10年3月末までということですので、令和9年度末を事業期間としておりますということでもあります。

委員長（今田佳男君） 吉田委員、よろしいですか。

委員（吉田 基君） 聞いておこうか。聞いてもいいのかね。

委員長（今田佳男君） いいですよ、保留になっていますから。

吉田委員。

委員（吉田 基君） 保留だから。これでできるの、10年までに。

これからどんどんどんどん地権者が何人いて、それはそれでいいのだけど、気になるところです。

委員長（今田佳男君） 都市整備課長。

都市整備課長（広近隆幸君） ごめんなさい。県の事業ということで、市負担金ということですので、一旦そのような計画で進められるということでこちらも認識しております。

委員長（今田佳男君） よろしいですね。

ほかございませんね。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

10番、交通安全対策事業費、198ページから199ページになりますが、199ページの2番、交通安全施設整備に要する経費、このみになります。質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

240ページ、公共土木施設災害復旧費になります。240ページ、241ページで公共土木施設災害復旧に要する経費、241ページの2番の人事管理に要する経費は除きます。質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

242ページ、243ページ、農林水産施設災害復旧費で質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） それでは、次は港湾事業特別会計になります。

336ページ、港湾事業特別会計のうち336ページ、337ページ、歳入の項目が4か所ありますが、歳入について一括で質疑のある方はお願いいたします。

よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に歳出に参ります。

338ページから339ページの港湾管理費、1番の港湾管理事務に要する経費になります。2番の人事管理に要する経費は除きます。

松本委員。

委員（松本 進君） 339ページの1の12の警備委託料が93万5,000円計上されておりますけれども、この積算内容をお尋ねしておきたいと。何人、どこで、どういった業務内容なのかという根拠をお尋ねしておきたいと思います。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） こちらのほうは、ゴールデンウィークとか連休とか週末等、忠海港の周辺で人が駐車場の出入りをしたりとか混雑する場合に警備員を配置するという事としております。

警備員としては40名、それから警備員の中でも資格を持った人がいるのですけれど、そういった方が10名ということで、合わせて50名という警備員の配置で今の93万5,000円ということで予算計上をしております。

委員長（今田佳男君） 松本委員。

委員（松本 進君） お尋ねしたかったのが、ゴールデンウィークとか週末とかということで、26日は日曜日だったのですが、あそこは結構人の人数が多くて、相当人数が来られたということで、大久野島でフェリーの着岸ができなかったということで渋滞があったようですけれども、1つ警備員がその業務に入っているのかなと思ったりしたのですが、確かによそから来られた人は大分長く待って、一番いいのは来られた人があなたは1時間ぐら待ちますよとか、このぐらかかりますよとかというようなそういった案内の業務といたしますか、そこはこの中に入っているのかどうかを確認したい。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 警備員につきましては、混雑時に配置するという事で、竹原市のほうでいけば国道の入り口、それから市の臨時駐車場の警備員ということで、市のほうの警備員の配置はそういうふうにしております。

委員長（今田佳男君） 松本委員。

委員（松本 進君） それと、あと今185のところにも警備を配置しているということでありましたけれども、私が聞いているのは市のほうの警備の配置の分と、それと回漕店といたしますか切符売場のところの事業をされてる方がおりますけれども、あそこにも警備

員が配置されて、特にフェリーの乗降のときが混雑するといえますか、そこでうまく誘導しないと混雑するというので、要するに市が配置している警備とあっちの民間の方の警備の交信といえますか、交流といえますか、そこがうまくできていないとフェリーの着岸とかでうまく流れないこともあるという、こう聞いたことがあるのですが、そういったトラブルといえますか苦情というのは、そういったものはそこらはないほうがいいのですが、どうでしょうか。

委員長（今田佳男君） 建設課長。

建設課長（松岡俊宏君） 警備の運用に当たりましては、私が建設課に来てゴールデンウィークとかそういった連休中にこういった警備員の配置をして、混雑時にそういった整理をしていただいたということで、これまで大きなトラブルはございませんので、特に問題なく進めております。

委員長（今田佳男君） よろしいですか。

ほかございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

340ページ、341ページ、港湾整備費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、次に参ります。

342ページ、343ページ、予備費について質疑のある方はお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（今田佳男君） では、これをもって建設部の個別審査を終了いたします。

今回は、3月7日火曜日10時から全体審査を行います。審査方法について再度確認をいたします。場所は委員会室において行います。一般・特別・企業会計を一括して、2日間の枠で行います。事前通告方式ですので、通告書の提出は3月6日12時まででお願いいたします。期の若い方からの順で発言をしていただくようにしております。通告の質疑項目ごとに3回と、答弁を含めて全体で1時間の枠で全体質疑を行うようにしております。よろしくお願いいたします。

以上で第5回予算特別委員会を終了いたします。

御苦労さまでした。

午前11時15分 散会